

「応用生態工学会福岡2018—九州の応用生態工学の事例と研究—」 九州地区事例発表会 開催案内



●会の趣旨

応用生態工学会福岡では、九州における応用生態工学の普及や産学官民の連携強化などを目的に、研究・事例等の成果を気軽に発表・参加できる機会として、数年おきに九州地区事例発表会を開催しています。

今回は、平成29年7月九州北部豪雨災害調査団の報告を始め、環境DNA分析等の最新の知見を含め幅広い分野から発表を行います。また、参加者の交流を図るため懇親会も企画しております。

年末の忙しい時期ではありますが、皆様ふるってご参加ください。



●主催：応用生態工学会福岡

●共催：九州大学

●後援：熊本大学・国交省九州地方整備局・環境省九州地方環境事務所・福岡県

●日時：2018年12月4日(火) 9:50~18:00(その後懇親会)

●場所：九州大学西新プラザ 福岡市早良区西新2-16-23 TEL:092-831-8104

※会場へは公共交通機関でおこしください。また、会場近隣にコンビニ等の店はありませので、会場内で食事をされる方は事前にご準備ください。

●プログラム：

9:30~9:50	受付
9:50~10:00	開会 事務連絡
10:00~12:20	口頭発表(平成29年7月九州北部豪雨災害調査団報告)
昼休み	
13:20~15:00	口頭発表
15:00~16:00	ポスター発表
16:10~17:50	口頭発表
17:50~18:00	閉会
18:30~	懇親会(居酒屋ひなたぼっこ 福岡市早良区西新1-8-10)

※CPDの登録を行う方には参加証明書を発行します。(建コン協会CPD認定プログラム申請中)

●参加費

応用生態工学会会員・学生・発表者 : 無料

// 非会員(学生・発表者以外) : ¥2,000(当日お支払いください)

懇親会費 : ¥3,500(当日お支払いください)

※ 懇親会の参加は先着順となります。定員になり次第締め切ります。

●お申込み・お問い合わせ先

応用生態工学会福岡事務局 齋藤剛 宛 (西日本技術開発(株)環境部 内)

E-mail : t-saito@wjec.co.jp FAX : 092-726-4880

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 4F 西日本技術開発(株)環境部

「応用生態工学会福岡 2018—九州の応用生態工学の事例と研究—」
九州地区事例発表会 プログラム

●口頭発表

(○は発表者)

	時間	No.	内容	発表者・連名者
受付	9:30 ～9:50		受付 事務連絡	
挨拶	9:50 ～10:00	—	開会挨拶	島谷幸宏(応用生態工学会理事、九州大学・院工学研究院環境社会部門)
口頭発表①	10:00～ 12:20	平成29年7月九州北部豪雨災害調査団報告		
		○-1	地質に着目した九州北部豪雨後の河道変化の比較	○佐藤辰郎(九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)
		○-2	土砂崩壊地の地形・植生の関係	○遠山貴之(八千代エンジニアリング(株))
		○-3	斜面崩壊要因分析と斜面積生の保全・復元にむけて	○皆川朋子(熊本大学・院自然科学研究科)
		○-4	土石流が発生した溪流の河道内環境特性と河川生物の初期的状況	○一柳英隆(熊本大学・院自然科学研究科)、鹿野雄一(九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)、菅野一輝(九州大学・院生物資源環境科学府)
		○-5	九大淡水魚類データベースを活用した災害対応	○鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)
		○-6	河道計画について	○細野典明(いであ(株))
		○-7	集落会議と地域のための復旧・復興にむけて	○林博徳(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
休憩	12:20～ 13:20		昼休憩	
口頭発表②	13:20～ 15:00	○-8	平成29年7月豪雨災害による河道の変化について-地質に着目しながら-	○仲高田浩志(九州大学・院工学府)・佐藤辰郎(九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)・島谷幸宏(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
		○-9	住民撮影動画を利用した洪水流速推定法	○仲野健太郎(九州大学・院工学府)、林博徳・島谷幸宏(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
		○-10	気候変動下におけるECO-DRR、グリーンインフラの可能性	○島谷幸宏(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
		○-11	野鳥川における伝統的構造物の災害復旧工事	○野中浩二(福岡県朝倉県土整備事務所河川砂防課)
		○-12	小石原川ダム建設事業における保全対象種(植物)の移植	○村田裕((独)水資源機構朝倉総合事業所環境課)
ポスター	15:00～ 16:00		ポスター発表(内容は次頁に掲載)	
口頭発表③	16:10～ 17:50	○-13	砂州の間隙水域における有機物貯留量の出水による変動	○久保朋也(九州大学・院生物資源環境科学府)・笠原玉青・大槻恭一・智和正明(九州大学・院農学研究院環境農学部門)
		○-14	加藤清正由来の八の字堰の形状復元と球磨川下流域における瀬の再生	○山本恭裕・長岡一成(国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所)
		○-15	遠賀川流域生態系ネットワークについて	竹本進((株)建設環境研究所)、野呂健志・米山直貴(国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所)
		○-16	水田・水路の生物多様性と農業の共生プロジェクト	○並木崇((公財)WWF ジャパン自然保護室)
		○-17	簡易なバラタナゴ類雑種判別ツールの開発	○梅村啓太郎(九州大学・院生物資源環境科学府)、栗田喜久・鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)
挨拶	17:50～ 18:00	—	閉会挨拶	鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)
懇親会	18:30～		懇親会・発表賞表彰(ひなたぼっこ 福岡市早良区西新 1-8-10)	

※プログラム内容・時間は変更になる場合があります

●ポスター発表 (発表時間: 15:00~16:10)

(○は発表者)

No.	内容	発表者・連名者
P-1	干潟底質の環境 DNA によるカブトガニの空間利用調査の試み	○高比良光治・貞末加織・大井和之((一財)九州環境管理協会)、小島治幸(NPO)自然環境定量評価研究会)
P-2	環境 DNA メタバーコーディングに基づく対馬沿岸域の魚類相とその季節変化	○會津光博(九州大学・院工学研究院環境工学研究教育センター)、清野聡子(九州大学・院工学研究院環境社会部門)、佐土哲也・宮正樹(千葉県立中央博物館)
P-3	環境 DNA メタバーコーディング法による福岡県糸島半島の中小河川の生物多様性保全策の検討	○大井健司(九州大学工学部)、清野聡子(九州大学・院工学研究院環境社会部門)、會津光博(九州大学・院工学研究院環境工学研究教育センター)・越口竜人(九州大学・院工学府)
P-4	海岸環境政策の再構築-国土交通省津波防災地域づくりと砂浜保全のあり方に関する懇談会の議論から-	○清野聡子(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
P-5	津屋崎干潟におけるカブトガニ幼体の生息適地の推定	○平田大雅(熊本大学工学部)、小山彰彦(熊本大学・院先端科学研究部)、伊豫岡宏樹(福岡大学工学部社会デザイン工学科)、久保園遥((国研)国立環境研究所・九州大学)、鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)、皆川朋子(熊本大学・院自然科学研究科)
P-6	有明海沿岸域のクリーク網における魚類の多様性	○一安美希・梅村啓太郎・若林瑞希・秋庭広大(九州大学・院生物資源環境科学府)、鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)
P-7	九州におけるニッポンバラタナゴとタイリクバラタナゴの交雑状況	○石津まりの・梅村啓太郎・一安美希・若林瑞希(九州大学・院生物資源環境科学府)、栗田喜久・鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)
P-8	イシガイ目二枚貝の生息場再生に向けた実践活動	○斎藤謙伍(九州大学・院工学府)、林博徳(九州大学・院工学研究院環境社会部門)、大坪寛征(日本工営(株))、島谷幸宏(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
P-9	除草回数が外来草本セイバンモロコシの成長に及ぼす影響	○山根明(西日本技術開発(株))、友口勇生(九州産業大学・院工学研究科)、内田泰三(九州産業大学建築都市工学部)
P-10	糸島半島における砂浜海岸の植物の現状比較	○張晨(九州大学・院工学府)、清野聡子(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
P-11	江津湖における自然環境の保全・再生に関する基礎研究	○蔵元辰也(熊本大学工学部)、皆川朋子(熊本大学・院自然科学研究科)、伊東麗子・米満典子((株)九州開発エンジニアリング)
P-12	地質に着目した山地河川における水温特性に関する研究	○吉野方人(熊本大学工学部)、一柳英隆・皆川朋子・田中亜季(熊本大学・院自然科学研究科)
P-13	土壌藻類を活用した環境にやさしい浸食防止技術(BSC工法)	○峰松睦(日本工営(株))
P-14	水理実験による空石積み護岸の吸い出し現象と防止対策に関する基礎的知見	○大石銀司・竹内えり子(九州大学・院工学府)・林博徳(九州大学・院工学研究院環境社会部門)・池松伸也(九州大学工学部技術部)・島谷幸宏(九州大学・院工学研究院環境社会部門)
P-15	生息場モデルを用いた鳥類保全に向けた全国の河口飛来地評価	○田辺篤志・皆川朋子(熊本大学・院自然科学研究科)、小山彰彦(熊本大学・院先端科学研究部)
P-16	耳川水系ダム通砂実施計画の策定に向けたダム通砂による魚類への影響予測	○井原高志(西日本技術開発(株))、川上馨詞・坂田賢亮(九州電力(株))、鬼倉徳雄(九州大学・院農学研究院資源生物科学部門)

※プログラム内容・時間は変更になる場合があります

「応用生態工学会福岡 2018—九州の応用生態工学の事例と研究—」
九州地区事例発表会 参加申込書

会員種別	会員	応用生態工学会 会員 No. _____	非会員
	いずれかに○をつけ、会員の方は会員番号をご入力ください ※会員番号が分からない方は空欄で構いません。		
氏名			
所属			
連絡先	自宅 ・ 勤務先	(いずれかに○をつけてください)	
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
懇親会への参加	参加する ・ 参加しない	(いずれかに○をつけてください)	

- 参加申込方法：本「参加申込書」にご入力の上、Eメール又はFAXでご返送ください。
Eメールの件名には「応用生態申込」をご入力ください。

参加申込〆切り：2018年11月30日(金)

- 参加費：応用生態工学会会員・学生・発表者 ：無料
 // 非会員(学生・発表者以外) ：¥2,000(当日お支払いください)
 懇親会費 ：¥3,500(当日お支払いください)
 ※ 懇親会の参加は先着順となります。定員になり次第締め切ります。

●お申込み・お問い合わせ先

応用生態工学会福岡事務局 齋藤剛 宛 (西日本技術開発(株)環境部 内) E-mail : t-saito@wjec.co.jp FAX : 092-726-4880 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 4F 西日本技術開発(株)環境部
--

※応用生態工学会への入会ご希望の方へ：入会方法は応用生態工学会 HP を参照ください。
応用生態工学会 HP : <https://www.ecesj.com/>

本申込書にていただいた個人情報は、個人情報保護法及び関連法令、また当学会個人情報保護方針及び関連する規定類に基づき適正に管理、保護し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。